

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 325 (通算 655 回)

2016 年 6 月 27 日 (月)

ホップ・ステップ、そしてジャンプ

グローバル人材育成—現況と次の展開

～分厚い中間層学生への「英語教育」「海外インターン・留学」の実際～

- ※ 日本社会の国際化の近未来とグローバル人材像／英語力・異文化対応力の育成プログラム
- ※ 学習フェーズに応じた英語集中教育／「静」と「動」の教育観／海外短期プログラム再考
- ※ [東京海洋大] TOEIC 教育プログラムの運営／4 年次 600 点進級要件クリアの学習法
- ※ [明治大] 実践的英語力強化&ACE プログラムの構築と実践／脳科学等を応用した取組
- ※ [北海道情報大] ICT 作品制作ワークショップによる異文化相互啓発／実施結果と展望
- ※ [大阪大] 海外学生と共の“カップリング・I S”／学生の学びと変化／必要なのは語学力？！
- ※ [明治大] 世界へ！8,000 人／ホップ・ステップ・ジャンプの留学プログラム／未来開拓力


● 講師陣 ●

- 小野 博 氏 / 中村学園大学 昭和大学 客員教授 グローバル人材育成教育学会 会長
- 内田 富男 氏 / 明星大学 人文学部 全学共通教育 准教授
- 横川 綾子 氏 / 東京海洋大学 特任准教授 TOEIC・大学院授業英語化支援担当
- 森本 陽子 氏 / 明治大学 政治経済学部 ACE 担当 専任講師
- 穴田 有一 氏 / 北海道情報大学 教授 教養部長
- 勝又美穂子 氏 / 大阪大学 接合科学研究所 特任准教授
- 大六野耕作 氏 / 明治大学 副学長 国際連携本部長 政治経済学部 教授

懇談パーティによる
経験の共有

企画協力：グローバル人材育成教育学会

2016 年 6 月 27 日 (月) 明治大学 リバティタワー 教室 (東京・駿河台)

 地域科学研究会
高等教育情報センター

日 時：2016 年 6 月 27 日 (月) 10:00～17:30
 会 場：リバティタワー (明治大学) 1156 教室 (東京・駿河台)
 千代田区神田駿河台 1-1 TEL 03-3296-4545
 アクセス：JR 中央・総武線東京メトロ丸ノ内線駅「御茶ノ水駅」下車徒歩 3 分、または東京メトロ千代田線駅「新御茶ノ水駅」下車徒歩約 5 分
 参加費：A. ご一名 (資料代・懇談費込) 43,000 円 (税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 41,000 円 (送料・税込)
 C. グローバル人材育成教育学会会員 20,000 円 (資料代・懇談費込・税込)
 ※メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
 ※パーティ会場：明治大学アカデミーコモン IF 「カフェ パンセ」

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660
 口座名< (株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。
 申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ 第 2-106
 Tel : 03-3234-1231 Fax : 03-3234-4993 〒102-0082
 E-mail : kkj @ chiikikagaku-k.co.jp
 URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 325

グローバル人材育成—現況と次の展開

2016 年 月 日

(□に✓印を) □当日参加 □メディア参加 □学会員
 支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込
 必要書類 □請求書 □見積書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 11:00	<p>□ グローバル人材育成の多彩な取組みと大学への期待 ～日本社会の国際化の近未来／大学教育の役割～</p> <p style="text-align: right;">グローバル人材育成教育学会 小野 博</p> <p>1. 日本経済のグローバル化と大学への期待 (1) これからの企業活動と求められる人材 (2) 海外の第一線で活躍するグローバル人材像 (3) 国内の就活で求められるグローバル人材像 (4) 大学の国際化とグローバル人材育成教育学会の役割</p> <p>2. 大学に輩出が期待されるグローバル人材像 (1) 文科省・経産省が考えるグローバル人材 (2) 求められるコミュニケーション能力と教育プログラム (3) 求められる異文化対応力と教育プログラム (4) 求められる英語力と事前準備学習&英語教育プログラム</p> <p>3. 海外活動経験と学生の成長 (1) 短期・長期留学とサマースクールへの参加 (2) 海外の大学における専門性を生かしたワークショップ (3) 工夫が進む海外インターンシップ (4) 海外におけるボランティア活動 (5) 国内でもできる国際化活動</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

英語教育～ホップ・ステップ・ジャンプの学習プログラム

11:10 } 11:50	<p>□ 学習フェーズに応じた英語教育の設計と実践 ～短期集中教育の現状と課題～</p> <p style="text-align: right;">明星大学 内田 富男</p> <p>1. グローバル人材育成における外国語教育の位置づけ (1) 「分厚い中間層」とグローバル志向の学生 (2) 「英語」と「国際・グローバル」の主従関係</p> <p>2. 学習フェーズに応じた教育 (1) 「静」と「動」の英語教育観 (2) やる気に火が付くか、心が折れるか～学習意欲と教育実践 (3) 学習フェーズに応じた英語教育の設計と実践</p> <p>3. 海外短期修学プログラム再考 (1) 準備教育 (2) フォローアップ教育のシステム化の重要性 (3) まとめ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
---------------------	---

11:50 } 12:30	<p>□ [東京海洋大] TOEIC 教育プログラムと運営の実践 ～海洋科学部 4 年次 600 点進級要件クリアの学習法～</p> <p style="text-align: right;">東京海洋大学 横川 綾子</p> <p>1. TOEIC600 点 4 年次進級要件導入の経緯 (1) グローバル人材育成推進事業 (特色型) 採択と三大教育改革 (2) TOEIC600 点 4 年次進級要件の位置づけ (3) なぜ「600 点」?</p> <p>2. TOEIC 教育プログラムとその効果 (1) 教育プログラムの全体像 (2) 学年別支援策の詳細 (3) 4 年次進級要件の達成状況 (2016 年 6 月 1 日現在)</p> <p>3. 課題と今後の展望 (1) 出願要件の追加と「グローバル入試改革」のインパクト (2) 学生によるシエルバ活動: Team SUMMIT</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
---------------------	---

12:30 } 13:10	<p>□ [明治大] 実践的英語力強化&ACE プログラムの構築と実践 ～脳科学 x ポジティブ心理学 x グループダイナミクス x ドラマ x SNS = ???～</p> <p style="text-align: right;">明治大学 森本 陽子</p> <p>1. ACE の特徴 (1) プログラムの特徴 (2) 発表者の教育理念</p> <p>2. 授業の取り組み例: (1) ホップ: 学ぶ環境を整える a. グループ・ダイナミクスに着目→心理面に配慮した学習環境に b. 21-day challenge で英語を通して脳をポジティブに rewiring c. Brain-friendly な学習方法を学び、実践。 (2) ステップ: より煩雑かつパーソナルな英語使用、発表機会を用意。 a. Facebook groups の活用 b. TED.com を活用した学生によるディスカッション・ファシリテーション c. ドラマ、プレゼン、ゲームの活用例 (3) ジャンプ: 学内留学、短期留学→中、長期単位取得留学 — 体験者、卒業生などとの交流→より高いレベルに学生を誘導</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
---------------------	---

海外留学～多様なプログラムの展開

14:10 } 14:50	<p>□ [北海道情報大] ICT 作品共同制作ワークショップによる異文化相互啓発 ～Web デザイン・ショートフィルム・コンピュータプログラミング～</p> <p style="text-align: right;">北海道情報大学 穴田 有一</p> <p>1. グローバル人材育成と大学の国際貢献 (1) 知識基盤社会と人材育成 (2) 北海道情報大学の国際交流</p> <p>2. ICT 作品制作ワークショップ型学生交流 (1) 多様な学生への多様な学修支援 (2) コンテストとワークショップによる主体的学びの実践 (3) iWDC モデルと交流範囲の拡大</p> <p>3. 実施結果と今後の展望 (1) 実施結果 (2) 実施体制 (3) 今後の展望</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
---------------------	--

15:00 } 15:40	<p>□ [大阪大] 海外の学生と共に実施する海外インターンシップの取組み ～異分野、異文化の学生合同によるカップリング・インターンシップ、極限環境における学び～</p> <p style="text-align: right;">大阪大学 勝又 美穂子</p> <p>1. カップリング・インターンシップとは (1) 背景・目的 (2) 構成 (3) 実施方法 (4) 実績</p> <p>2. カップリング・インターンシップにおける学生の学びと変化 (1) 事前研修から見る (2) 現地実習から見る (多忙なプログラム下での目まぐるしい自己の変化) (3) 実施後アンケートから見る (必要なのは語学力ではなかった?! でも、やっぱり語学力?!) (4) 帰国後の様子から見る</p> <p>3. カップリング・インターンシップの更なる展開を目指して (1) グローバル人材育成教育プログラムとしての確立を目指して (2) 海外連携大学、海外企業とのネットワーク拡充の必要性 (3) 持続性を維持するための工夫の必要性</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
---------------------	---

15:40 } 16:20	<p>□ [明治大] ホップ・ステップ・ジャンプの留学促進プログラムの実際 ～学生目線に合わせた教職員の発想転換を～</p> <p style="text-align: right;">明治大学 大六野 耕作</p> <p>1. グローバル化は環境変化に過ぎない! 2. 過剰に反応したり、恐れる必要はない! 3. 多文化環境は当然のことという意識を持つだけ! 4. 将来の Career Path をイメージさせる! 5. 個別のプログラムを有機的に連関させる! ～実践英語力 ACE、短期留学、長期留学、ダブル/デュアルディグリー、TSS 6. 系統的、段階的にプログラムを準備する! 7. 学生のニーズに合わせたプログラム提供! ～留学サポーター、国内留学 Top School Seminar、益子を世界に売る PBL</p> <p>結論: Hands-on で Hands-off の効果</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
---------------------	--

16:30 } 17:30	<p>□ [懇談パーティ]</p> <p>～講師陣を囲んで～</p>
---------------------	------------------------------------